

2024 年 3 月 10 日

獣医学ユニット長

佐々木 基樹 先生

帯広畜産大学 獣医学ユニット

QA 委員会

共同獣医学課程の教育改善に関する提言（2023（R5）年度）

平素より教育活動の質向上にご尽力いただきありがとうございます。下記のとおり、Quality Assurance 委員会として共同獣医学課程における教育改善に関する提言をまとめました。つきましては、本提言内容について対応をご検討くださいますようお願い申し上げます。

【提言事項】

1. 多くの教員が希望する「研究へのエフォート配分の増加」に向けた改善策を検討する。

以上

2024 年 3 月 15 日

帯広畜産大学獣医学ユニット

QA 委員会 御中

獣医学ユニット長

佐々木 基樹

共同獣医学課程の教育改善に関する提言に対する回答（2023（R5）年度）

貴委員会より 2024 年 3 月 10 日付でいただいた「共同獣医学課程の教育改善に関する提言」について、下記のとおり対応および今後の取組方針を報告いたします。

【提言事項と対応状況】

1. 多くの教員が希望する「研究へのエフォート配分の増加」に向けた改善策を検討する。

回答：これまでの対応状況を以下にまとめる。

1. リソースの増加：

- ・教員・事務・関連スタッフの増員…大学として、子育て世代への研究支援員の配置、生抜きキャリアパス制度、そして部門ごとの女性教員上位職枠による採用などを実施中。

- ・外部臨床機関の獣医師との連携…現在、産業動物の教育に関して、難診断病畜の病態診断について NOSAI 北海道十勝と連携を行っている。馬臨床ではばんえい競馬場内の診療所（ばんえいクリニック、アテナ統合獣医ケア Ban'ei 競走馬診療所）、および社台ホースクリニックとの連携診療を行っている。今後もこれらを継続する。

2. 管理運営業務の低減：

事務的業務の委譲、事務との一体化による業務効率化…教務課内に共同獣医・大学院係が設けられたほか、国際認証推進室にも事務のスタッフが入っており、事務的な業務を分担し、業務の効率化を進める。

3. 教育業務の低減：

相互提供科目のあり方の検討…教員の移動を伴わない形での講義の実施について検討する。

4. 研究活動の増加：

・アドバンスト演習の４年生からの単位認定の開始を検討している（研究室配属前の単位取得モチベーションの向上）。

・部門活性化経費において、研究を活性化するために「論文掲載料補助」、「英文校閲補助」、「専門書購入補助」、「実験消耗品補助」といった研究助成を毎年度継続する予定。

以上